

令和7年度 課の運営方針書

消防本部 警防課

1 課の運営方針

【課の使命】

救急救命士を含む救急隊員の教育指導体制の充実強化を図るとともに、大規模自然災害等に対応するため消防用ドローン操縦者の養成と部隊の運用について強化を図ります。消防団をはじめとする防災関係機関及びコンビナート事業所自衛消防組織と連携することで、複雑多様化するあらゆる災害から市民の安全と安心を確保します。

【課の目標】

- ① 救急救命士を含む救急隊員の病院実習について、医師同乗システム・救急ワークステーション(以下「救急WS」という。)方式を導入することで、生涯教育体制の充実強化を図るとともに、救急救命士の処置拡大及びマイナ救急を活用した実証事業へ参加することで救急業務の高度化に取り組みます。
- ② 消防用ドローン操縦者を養成し、訓練によってドローン部隊の運用を確立するとともに、災害現場からの出動要請に対応します。
- ③ 災害時に連携が必要不可欠となる消防団、防災関係機関及び他市消防本部との合同訓練により、迅速な応援受援体制の強化を図ります。
- ④ 消防水利(消火栓・防火水槽等)の整備及び維持保全に努めます。
- ⑤ 合同訓練等を通じてコンビナート事業所と連携し、自衛消防力の強化に努めます。

【行政経営への取組み】

救急活動記録票の山口県内の統一に併せDX化を図り、紙の削減と業務負担の軽減に努めます。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(警防企画担当) 消防用ドローン操縦者の養成と運用体制の整備を行い、防災関係機関やコンビナート事業所との合同訓練等を企画し、各機関との連携強化を図り、消防力の1つである消防水利の整備と維持保全に努めます。また、他市消防本部との県内応援受援体制の強化に努めます。
(救 急 担 当) 病院実習を救急WSとし、救急救命士の生涯教育体制を確立するとともに、アドレナリン投与拡大及びマイナ保険証を活用した実証事業へ参加することで救急業務の高度化に取り組みます。また、周南地域メディカルコントロール協議会を通じて医療機関と連携し、救急業務の質の向上を図り、市民の安全・安心に努めます。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	6 人	うち	正職員	6 人	・	会計年度 任用職員	0 人	人件費	正職員	43,620 千円	会計年度 任用職員	千円
-----	-----	----	-----	-----	---	--------------	-----	-----	-----	-----------	--------------	----

※R5職員平均給与(7,270 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	284,000 千円	歳出予算額	301,490 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	3 事業
-------	------------	-------	------------	-------------	---------	------

4 課の中期目標（優先順） 第3次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	5 防災・安全 2 消防・救急体制の充実 2 救急救助業務の充実	○病院実習(救急WS)で救急救命士を含む救急隊員の生涯教育と、救急救命士の処置拡大及びマイナ救急を活用した実証事業に参加し、救急業務の高度化を推進します。 ○消防用ドローンの操縦者を養成するとともに、救助業務の高度化を図ります。 ○ビデオ喉頭鏡認定救命士の養成によって救急業務の質の向上を図ります。 ○救助工作車の更新により、救助資機材取扱いと救助技術向上及び人材育成に努めます。
2	5 防災・安全 2 消防・救急体制の充実 1 消防力の充実	○消防団及び防災関係機関と実践的な訓練を実施し、連携強化に努めます。 ○コンビナート事業所自衛消防組織との訓練によって消防力の強化に努めます。 ○応急手当の重要性について講習会等を通じて市民への普及啓発に努めます。 ○消火栓や防火水槽等の消防水利について、整備・維持保全に努めます。